

令和4年度
事業報告書

川崎医療短期大学

(学校法人川崎学園 令和4年度事業報告書より抜粋)

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

(a) 教育目標

- ・ 健やかな心と体をもつ
- ・ 医療福祉の専門的知識・技能を身につける
- ・ 自ら学び続ける精神をもつ
- ・ 多様な人々を理解し共感する心を育む
- ・ 医療福祉人としての高い倫理観と責任感をもつ

(b) 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー

川崎医療短期大学では、所定の単位を修得し、次のような能力を備えているものに対し、卒業を認定する。

1. 医療福祉社会の担い手として、健全な心身を育てている。
2. 医療福祉の専門的な知識・技能を身につけており、社会の発展に寄与できる力を有している。
3. 修得した知識・技能により、新たな課題を発見し解決できる力を有している。
4. 他者の在り方を尊重し、支援、連携、協働できる能力を有している。
5. 誠実で礼儀正しく、社会の規範を遵守できる倫理観を有している。

カリキュラム・ポリシー

川崎医療短期大学では、本学の目的を達成するために、次の方針に基づき、教育課程を編成している。

1. 教育課程の編成は、教育目標に適確に対応する構成とする。
2. 幅広い視野と専門的な知識・技術を備えた専門職者を育成するために、全学科の教育課程は「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の各科目を体系的、順次的に配置したものとする。
3. 専門職者として社会の現場で活躍できる実践力と応用力を体得できるよう、各学科の教育課程においては、多様な講義と実習科目や学外実習との整合性を図る。

アドミッション・ポリシー

川崎医療短期大学では、本学の目的を達成するために、以下の資質を持つ学生を入学者として求めている。

1. 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人
2. 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人
3. 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人
4. 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人
5. 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

- ・新校舎棟開設及び学科名称の変更

岡山キャンパス新校舎棟を4月に開設するとともに、学科名称を「看護学科」と「医療介護福祉学科」に改めた。

- ・教育の質の充実

看護学科は令和4年度入学生から新カリキュラムでの教育が始まり、指定規則改正に伴う第5次カリキュラムの運用を開始した。また、患者・利用者など対人接触の制限を伴う学習に対して、高性能シミュレータ人形などを活用し、繰り返し学べる新たな教育プログラムを作成した。医療介護福祉学科では、「医療に強い介護福祉士の育成」を深化させるため、医療の実践的な知識を強化した3年制新カリキュラムに基づく授業を実施した。

- ・内部質保証の推進

内部質保証を充実させるために、点検評価委員会を開催し、教学マネジメント体制のもと教育課程編成及びその適切性の検証、学修成果の可視化の推進、入試選抜の妥当性の検討、教員活動評価、学生の満足度調査、卒業後アンケート、ガバナンス・コード等についてIR室と連携しながら点検・評価を行った。また、自己点検・評価報告書を作成し、外部有識者（倉敷市）からの評価も得て、HP上に公開した。

- ・広報活動の強化

岡山キャンパスの魅力を広報するため、合同オープンキャンパスの際、岡山キャンパス新校舎の見学会等を盛り込み、川崎学園学生寮「中山下レジデンス」を含め、充実した施設・設備を中心に、本学の教育の特色や実績を積極的にアピールした。また、10・11月には高校生が放課後に気軽に立ち寄れるよう放課後キャンパスツアーを開催した。